



令和5年3月24日

【広島大学 75+75 周年記念事業】
広島大学イラン学術調査隊 50 周年記念展「ペルシア踏査 1971」を開催します（4月25日～4月30日）

情報提供

1971年から1979年にかけて、広島大学文学部考古学研究室（松崎寿和教授・潮見浩助教授〔職名はいずれも当時〕）は、アジアにおける東西文化交流の解明を目的に、イラン学術調査隊を組織し、現地での遺跡調査を実施しました。海外渡航が一般的ではなかった50年前、イランでの学術調査は冒険ともいえる挑戦でした。本展示では学術調査隊発足から調査の成果を、当時の記録や現地の写真などを交えて紹介するとともに、調査によって得られた貴重な考古資料を公開する記念展示を行います。調査がどのようなものだったのかを皆様に知っていただけたら幸いです。

■日 時

2023年4月25日（火）～4月30日（日）11：00～20：00
（最終日4月30日（日）11：00～13：00）

■場 所

gallery G
（〒730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 公開空地内 tel: 082-211-3260）

■ギャラリートーク（4月29日（土）17：30～19：00）

テーマ：ペルシアの遺丘と物質文化：その探求と表現

講 師：古瀬 清秀（広島大学名誉教授）

有松 唯・桑島 秀樹（広島大学大学院人間社会科学研究科）

司 会：野島 永（広島大学大学院人間社会科学研究科）

■参加費

無料

■対象

どなたでもご参加いただけます

■参加申込

不要

■主 催

広島大学 大学院人間社会科学研究科 考古学研究室

【お問い合わせ先】

広島大学 大学院人間社会科学研究科 考古学研究室
TEL 082-424-6663

発信枚数：A4版 3（本票含む）

2024



150th
ANNIVERSARY



ここから世界へ、ここから未来へ
HIROSHIMA SUMMIT
広島サミット県民会議

ペルシヤ 水踏査 1971

広島大学イラン学術調査隊五〇周年記念展



2023.4.25 [火] - 2023.4.30 [日]

会場 | gallery G [730-0012 広島市中区上八丁堀4-1公開空地内]

主催 | 広島大学大学院人間社会科学研究科考古学研究室 後援 | 中国新聞社



サンギチャハマックでの発掘 [1971年撮影]



ホンゴによるテベ・シアルク踏査 [1971年撮影]



テベ・アンジラーブでの発掘 [1974年撮影]

七〇年代、日本人が滅多に足を踏み入れることのない土地で古代の謎を解明する一大プロジェクト。イランでの学術調査の困難やその調査はどのようなものだったのか回顧する。

ギャラリートーク | 4月29日(土) 17:30~19:00 「ペルシアの遺丘と物質文化：その探求と表現」
 古瀬 清秀 [広島大学名誉教授]・有松 唯 [広島大学大学院人間社会科学研究科]・
 桑島 秀樹 [広島大学大学院人間社会科学研究科]・司会：野島 永 [広島大学大学院人間社会科学研究科]



広島大学イラン学術調査隊五〇周年記念展

ペルシア踏査1971

2023.4.25 [火] - 2023.4.30 [日]

開催時間 |
 4月25日(火)~29日(土) 11:00~20:00
 4月30日(日) 11:00~13:00

会場 |
 gallery G
 730-0012 広島市中区上八丁堀4-1 公開空地内
 TEL. 082-211-3260 WEB. gallery-g.jp